感染症ニュース！

令和８年３月号

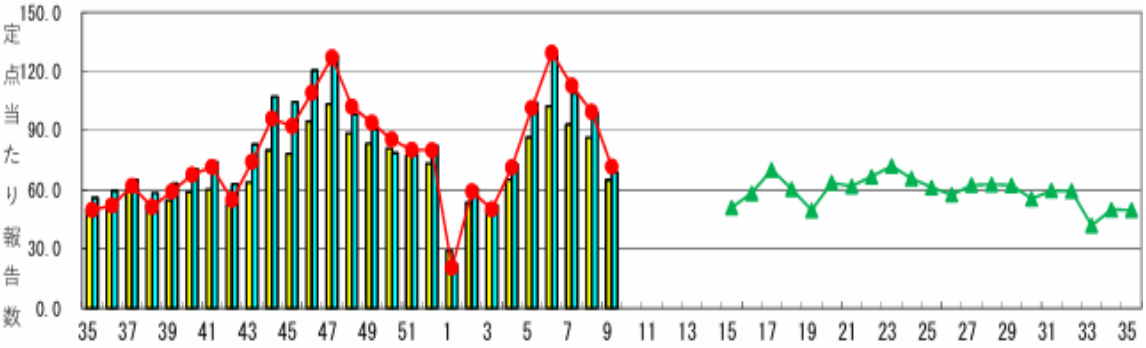
神奈川県および国内外で
気になる感染症を掲載しています。

＊県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。

★ ２月の注目感染症

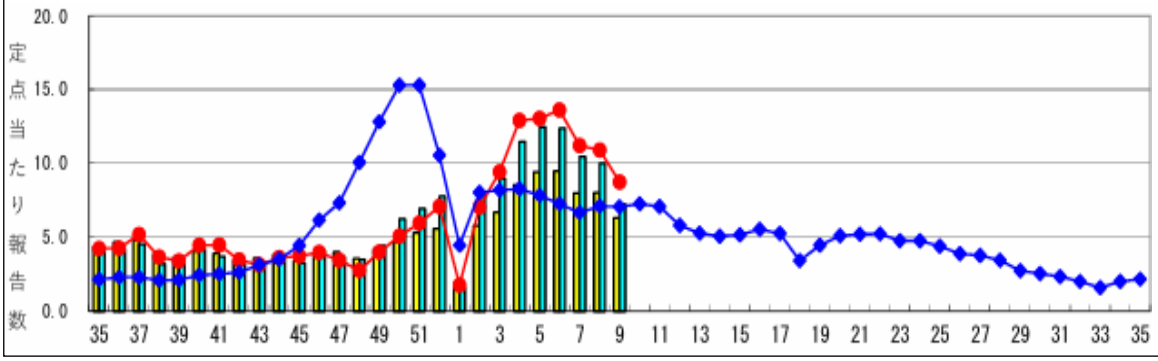
全国　神奈川県　県域　県域過去平均

① 急性呼吸器感染症



2月は、5-9歳を中心に報告がありました。
特に定点当たり報告数が多い地域は、
①横浜市
②川崎市
③厚木保健福祉事務所管内
でした。

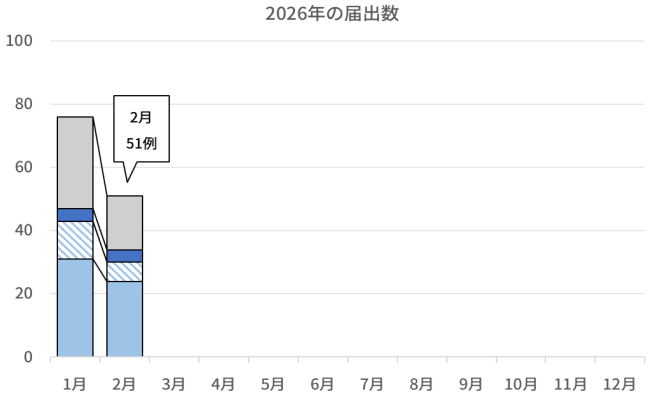
② 感染性胃腸炎

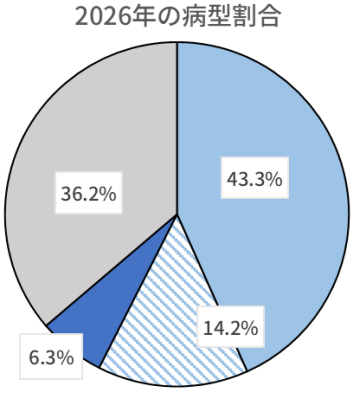


2月は、10-14歳を中心に報告がありました。
特に定点当たり報告数が多い地域は、
①横浜市
②川崎市
③厚木保健福祉事務所管内
でした。

★ 結核の発生動向（３月２日時点）

肺結核　肺外結核　肺結核＋肺外結核　無症状病原体保有者





２月の届出数は
51例でした。
2026年の累計患者数は
127例となりました。

衛生
博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

国立健康危機管理研究機構（JIHS）によると、国内の麻しん報告数は2026年第8週時点で累計71例となった。複数の都道府県から報告されており、神奈川県では第8週時点で累計5例の確定例が報告された。10代31%、20代24%、30代18%、40代18%が多く、推定感染地域別に見ると、国内感染が62%、国外感染が20%であった。国外ではインドネシアでの感染が最多であった。ワクチン接種歴は、接種無し又は不明が51%であり、母子健康手帳の記録による接種歴の確認、1歳以上で2回接種することにより、平時から予防しておくことが望ましい。

（・国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト　https://id-info.jihs.go.jp/　2026年3月3日アクセス
・神奈川県衛生研究所　https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/index.html　2026年3月3日アクセス）

衛生
ちゃん

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。
お問合せはこちらまで↓↓
TEL:0467-83-4400(代表)　FAX:0467-89-5211(企画情報部)

感染症情報
センターHP